

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

SER no.108; Cover, contents, and others

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-01-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009323

The Diary of
Hisakatsu Hijikata (IV)

Hisakatsu Hijikata

Edited by

Ken'ichi Sudo
Hisao Shimizu

National Museum of Ethnology
2012 Osaka

ISSN 1340-6787
ISBN 978-4-901906-97-5 C3039

土方久功日記

IV

——
土方久功 著

——
須藤健一・清水久夫 編



土方久功日記 IV

土方久功 著

須藤健一・清水久夫 編

国立民族学博物館 2012

国立民族学博物館 調査報告

108

土方久功日記 IV

土方久功 著

須藤健一・清水久夫 編

国立民族学博物館

2012

目 次

序 文 須藤健一・清水久夫 i

第I部 土方久功日記Ⅳ

土方久功日記 第19冊 (1932年2月11日～10月9日)..... 3

土方久功日記 第20冊 (1932年10月10日～1933年5月25日)..... 99

土方久功日記 第21冊 (1933年5月26日～1934年11月20日)..... 199

土方久功日記 第22冊 (1934年11月21日～1936年2月29日)..... 287

土方久功日記 第23冊 (1936年3月1日～1938年3月31日)..... 389

土方久功日記 第24冊 (1938年4月1日～1939年1月26日)..... 497

註 573

第II部 附 論

『土方久功日記』と、もう一つのフィールド「ノート」 清水久夫 581

母系社会のしくみ——土方久功が住んだ50年後のサタワル 須藤健一 593

凡 例

- 一 本書は、土方久功の自筆日記を翻刻したものである。
- 一 日記の本文は、A5判横書きの大学ノートに横書きで書かれている。
- 一 大学ノートの罫線の枠外に書かれた文字は、〔 〕内に記し、書かれた場所を、〔 〕内に示した。
- 一 欠損文字、抹消された文字は、□等の符号を用い、判読できる部分は□の上部に文字を入れた。
- 一 誤字と思われる文字は、原文のまま記し、上部に〔ママ〕と記すか、上部の〔 〕内に正しい文字を入れた。また、疑問のある文字については、〔○○カ〕と記した。
- 一 「㊦」は「事」、「𠄎」は「トキ」と表記した。
- 一 人名、地名等の固有名詞の表記が一貫していないものがあるが、統一せずに、日記の表記のままとした。
- 一 人名、地名等内容の説明に関する編者の註は、右上に番号を付し、末尾に順に記した。
- 一 原文のままでは理解しがたい文字は、上部の〔 〕内の文字で補った。
- 一 便宜上、適宜句読点を加えた。
- 一 旧漢字は、一部を除き、当用漢字に改めた。
- 一 連続した同じ事柄が数日間にわたって記述されている部分は、原文にならって、その事柄の記述の最後の部分と翌日のその記述の最初の部分にそれぞれ矢印を付し、記述が連続したものであることを示した。
- 一 日記には、現在では差別語とされる用語が用いられているが、その時代の歴史的な用語と考え、原文のままとした。
- 一 本書の小見出しなどの後に〔8, 15頁〕と記述された箇所がある。これは土方が原著の日記に注記した日記の頁数であり、本書の頁数とは関連していない。
- 一 本書の刊行に際し、土方久功のご遺族および知人の方々から資料を提供され、示教を得た。深謝の意を表したい。

Senri Ethnological Reports (最新号)

当館のウェブサイトにてバックナンバーのPDFをダウンロードすることができます。

<http://ir.minpaku.ac.jp/dspace/handle/10502/49>

- No.107 *A Herder, a Trader, and a Lawyer: Three Twentieth-Century Mongolian Leaders* (2012; Interviews conducted by Yuki Konagaya, I. Lkhagvasuren, translated by Mary Rossabi, edited and compiled by Morris Rossabi; 英語)
- No.106 情報化時代のローカル・コミュニティ — ICTを活用した地域ネットワークの構築 (2012; 杉本星子; 日本語)
- No.105 *Buddhist Fire Ritual in Japan* (2012; Madhavi Kolhatkar and Musashi Tachikawa; 英語)
- No.104 東アジアの民族イメージ — 前近代における認識と相互作用 (2012; 野林厚志; 日本語)
- No.103 マダガスカル地域文化の動態 (2012; 飯田卓編; 日本語)
- No.102 「障害のない社会」にむけて — ウェルビーイングへの問いとノーマライゼーションの実践 (2012; 鈴木七美編; 日本語)
- No.101 *Altai Uriankhains: Historical and Ethnographical Investigation Late XIX – Early XX centuries* (2012; Ichinkhorloo LKHAGVASUREN; 英語・モンゴル語)
- No.100 土方久功日記Ⅲ (2011; 土方久功, 須藤健一・清水久夫編; 日本語)
- No.99 *Research Notes on the Zhangzhung Language by Frederick W. Thomas at the British Library* (Bon Studies 14) (2011; eds. Tsuguhito Takeuchi, Burkhard Quessel and Yasuhiko Nagano; 英語)
- No.98 *A Great Tibetan-Mongolian Lexicon* [CD-ROM] (2011; eds. Urianhai L. Terbish, Urianhai T. Chuluun-Erdene; チベット語、モンゴル語)
- No.97 海洋環境保全の人類学 — 沿岸水域利用と国際社会 (2011; 松本博之編; 日本語)
- No.96 *Socialist Devotees and Dissenters* (2011; Interviews conducted by Yuki Konagaya, I. Lkhagvasuren, translated by Mary Rossabi, edited and compiled by Morris Rossabi; 英語)
- No.95 *Bonpo Thangkas from Rebkong* (Bon studies 13) (2011; ポンギャ ゲレ フンドウツプ ギャムツォ・津曲真一・立川武蔵・長野泰彦編; 英語、チベット語)
- No.94 土方久功日記Ⅱ (2010; 土方久功, 須藤健一・清水久夫編; 日本語)
- No.93 *Une version rgyalrong de l'épopée de Gesar* (Gyarong Studies 1) (2010; Guillaume Jacques and Chen Zhen, ed. Yasuhiko Nagano; フランス語)

[国立民族学博物館刊行物審査委員会]

須藤 健一 館長
西尾 哲夫 副館長
杉本 良男 副館長
韓 敏 民族社会研究部
八杉 佳穂 民族文化研究部
寺田 吉孝 先端人類科学研究部
岸上 伸啓 研究戦略センター（研究出版委員長）
朝倉 敏夫 文化資源研究センター

平成24年12月10日発行

国立民族学博物館調査報告 108

著者 土方久功
編者 須藤健一
清水久夫

発行 人間文化研究機構
国立民族学博物館
〒565-8511 吹田市千里万博公園10-1
TEL. 06(6876)2151(代表)

印刷 株式会社 遊文舎
〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-17-31
TEL. 06(6304)9325(代表)
